

株式会社 西京銀行

2024年3月期 決算報告



2024年3月期 業績ハイライト（単体）

- 預金残高対前期比 **1,316億円増加** 貸出金残高対前期比 **1,374億円増加**
- 預金残高、貸出金残高ともに **過去最高を更新** 預金残高は **2兆円を突破**
- 当期純利益は対前期比 **3億円増加** **4期連続過去最高益を更新**

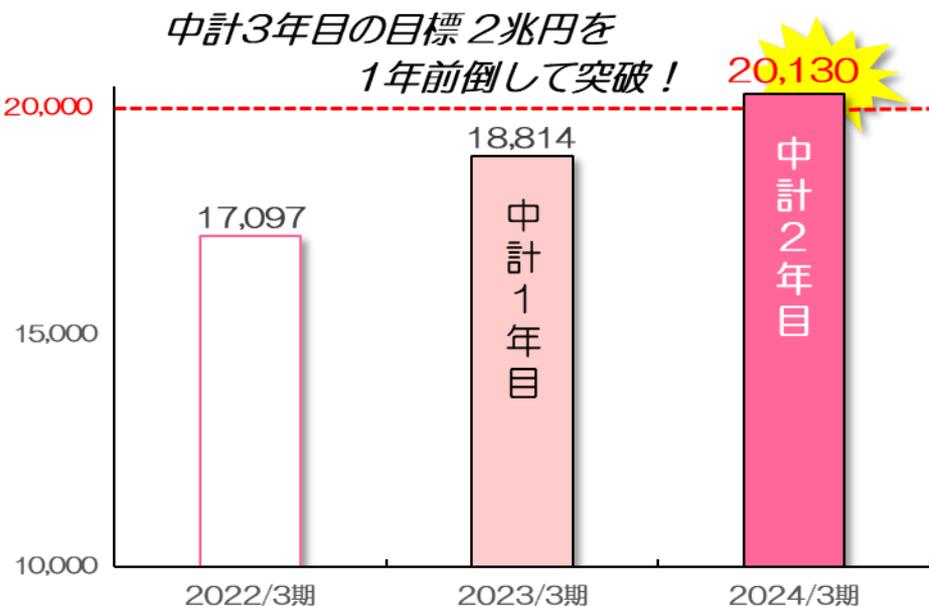
預金・貸出金残高推移 ～ 預金残高 2兆円を突破！



- 預金残高は、主力商品「年金定期預金」「ACT SAIKYO応援定期預金」が大変ご好評いただき、前年同期比 1,316億円増加。過去最高を更新。
- 貸出金残高は、引き続き、地元事業者さま向けの貸出や、個人のお客さまからの住宅取得ニーズに積極的に対応した結果、前年同期比 1,374億円増加。過去最高を更新。
- 中期経営計画2年目の当期、預貸金ともに3年目（最終年度）の目標を1年前倒して達成。預金残高は2兆円を突破！

預金残高推移

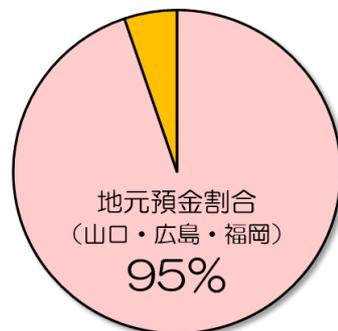
貸出金残高推移



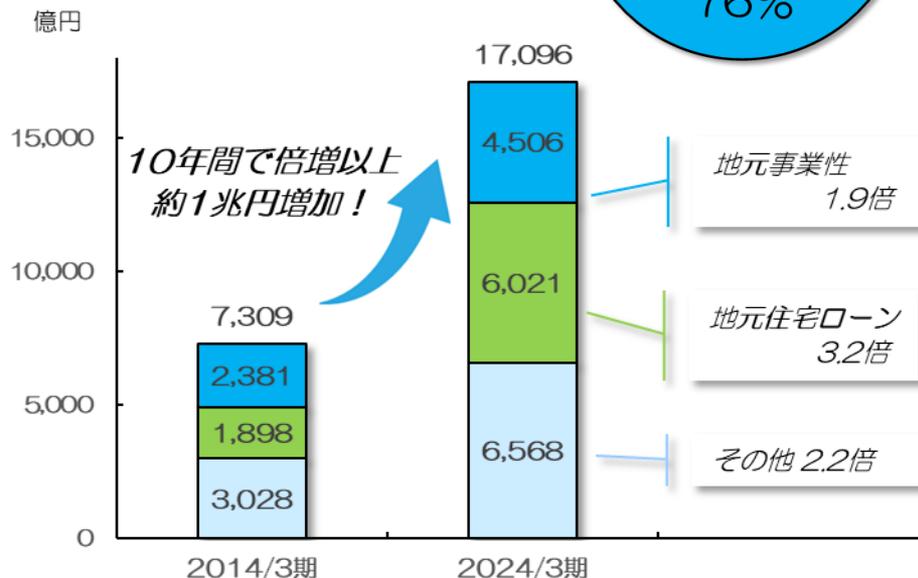
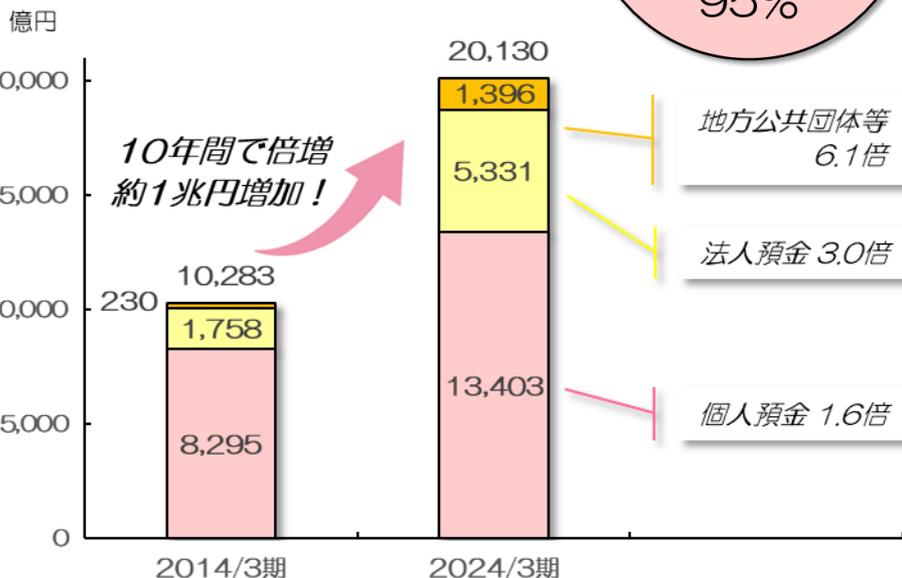
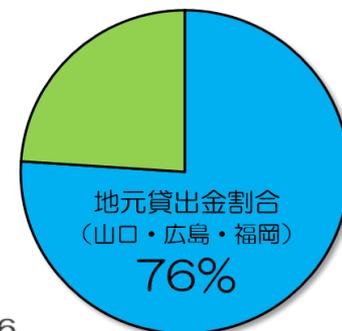
(参考) 資金の地域内循環 ～10年で預貸金残高 約1兆円増加

- この10年、地元（山口・広島・福岡）のお客さまからお預かりしたご預金を、資金を必要とされる地元事業者さまや個人のお客さまにお使いいただく『資金の地域内循環』を推進。
- 預金・貸出金ともに、個人・法人のお客さま、地方公共団体さま等、地元のあらゆるお客さまからご支持により、それぞれ残高は倍以上。トータル残高はともにおよそ1兆円増加。

預金増加額の内訳



貸出金増加額の内訳



- 市場金利の低位安定が長期化するなか、地元向けの積極的な貸出推進や、インカム重視の有価証券運用等により、3期連続の増収。
- 増収効果に加え、中期経営計画に基づく営業店業務の集中化・効率化による業務改革の継続により、経常利益、当期純利益ともに4期連続で過去最高益を更新。

(単位:百万円)

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	前年比
経常収益	26,804	31,060	34,310	3,250
経常利益	7,427	7,999	過去最高益 8,865	866
当期純利益	5,112	5,467	過去最高益 5,780	312

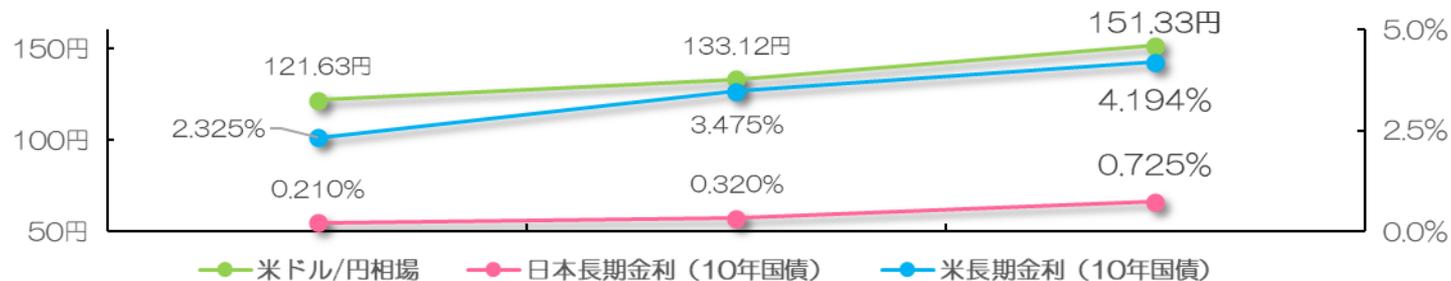
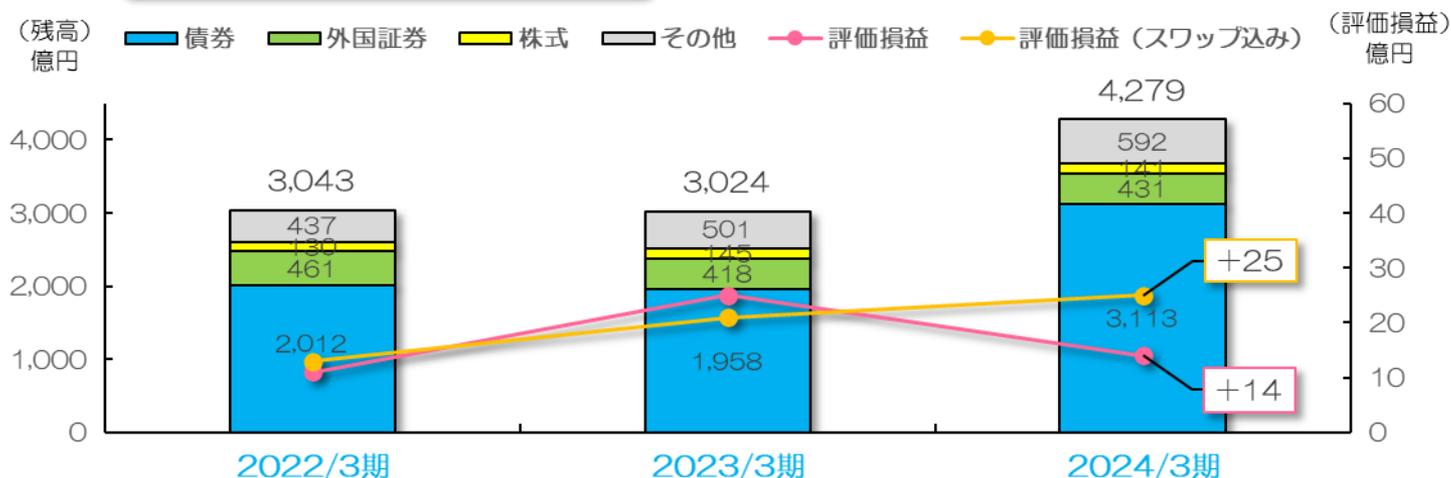
増収増益 (3期連続)

有価証券運用の状況



- 米国金利の急上昇や国内の金利政策見直し等により、期中、債券を中心に評価損に転じる局面もあったが、米国債157億円売却（売却損▲11億円）、日本国債197億円売却（売却損▲12億円）等果敢な対応の結果、期末の有価証券評価損益は引き続きプラス圏を維持。

有価証券残高と評価損益の推移

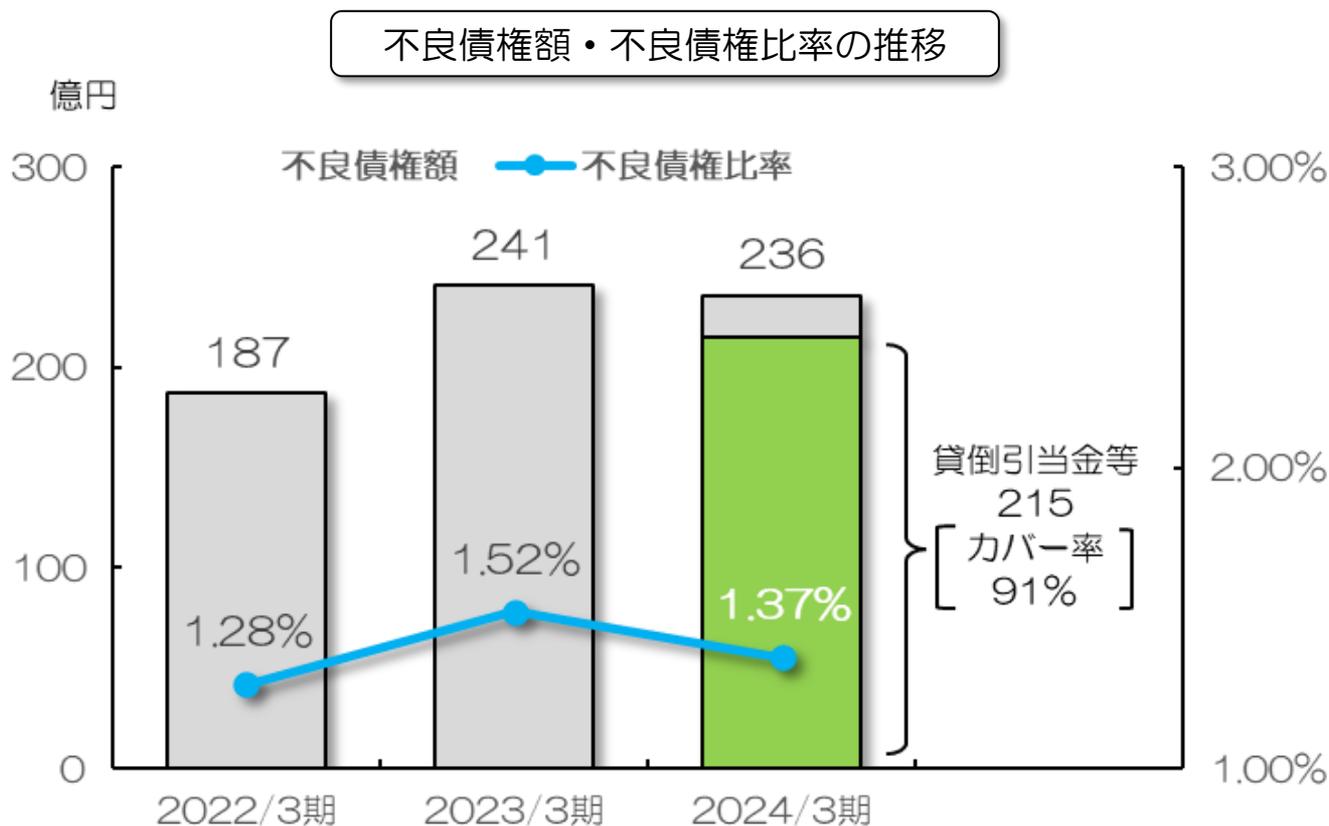


修正デュレーション推移（国内債券）



不良債権の状況（金融再生法開示債権）

- 県内の景気は、雇用者所得や個人消費を中心に緩やかな回復基調にある一方で、海外経済・物価情勢、資源・原材料価格の動向等、依然として先行きに注視が必要な情勢。
- こうした環境下、当行では、コロナ融資利用先への定期的な全社訪問による経営改善支援や小口分散を意識した融資運営により、不良債権比率は引き続き低水準を維持。
- 予防的な貸倒引当て等による十分な保全を講じることで、地域金融機関として今後も積極的なバックアップを継続する。



地域課題の解決に向けた取り組み

銀行をもっと身近に ～ カフェ風インテリアの「コンサル店舗」

- * 「地域に開かれた、オープンで居心地の良い店舗」をコンセプトに、山口県内店舗をカウンターレス店舗にリニューアル。2024年4月、全29店舗のリニューアル完了。
- * 店舗内はカフェ風のインテリアを採用。ゆったりと、リラックスしてご利用・ご相談いただける空間に。

従来の銀行店舗



- * 窓口カウンターで隔てられた、お客さまスペースと行員スペース

カフェ風インテリアのコンサル店舗



銀行をもっと身近に ～ 新勘定系システムへの移行

- * 2024年5月、勘定系システムをBIPROGYのクラウド版「Bank Vision®」に移行。後方事務や役席承認事務のセンター集中機能により、営業店の「事務レス」を実現。
- * さらに、お客さまには伝票をご記入いただくことなく、行員のタブレット操作で完結する「伝票レス」取引に刷新。営業店は「完全コンサル現場」に！

新システム・新店舗の機能



伝票レスのタブレット取引



お客さま
スペース拡張

新システム移行日: 2024年5月6日®
以下の期間、ATMなどすべてのオンラインサービスを休止させていただきます。



通常の営業時間とは異なります



通常の営業時間とは異なります



通常の営業時間とは異なります



通常の営業時間とは異なります



通常の営業時間とは異なります

← 休止期間 →

- * コロナ禍がもたらしたビジネス環境の変化を捉え、新たな収益機会を海外に求める地元事業者さまをサポートするために、世界人口4位を誇るインドネシアへの進出支援体制を整備。
- * 日系資本の現地銀行：Jトラスト銀行インドネシアと業務提携し、現地進出後に円滑な金融サービスを提供。さらに、当行行員3名を派遣し、国内外でのコンサル体制を強化。

西京銀行「海外進出サポート室」

(2023年11月 新設)



インドネシアセミナー開催 (2024年1月)



- * 県内2会場で開催。115社、300名超が参加。セミナー後、およそ30社が関心表明。
- * ニーズの強い7社と具体的にディスカッションし、うち、3社とコンサル契約スタート。

インターンシップサポート事業



- * 1年生330名が周南圏域企業72社で就業体験。
- * 2023年度は新卒者数の約4割／83名が山口県内企業に就職。

アントレプレナー養成共同研究講座



- * 5名の周南公立大学生がビジネスプランを発表。
- * 1期生のテーマは「学生自ら考える社会課題」。2期生は「地域企業が考える課題」をテーマに起業に挑む。

地域DX共同研究講座

DXセカンドステップ
- DXを成功に導くためのスキルと人材 -

DXファーストステップ
- DXをはじめませんか -

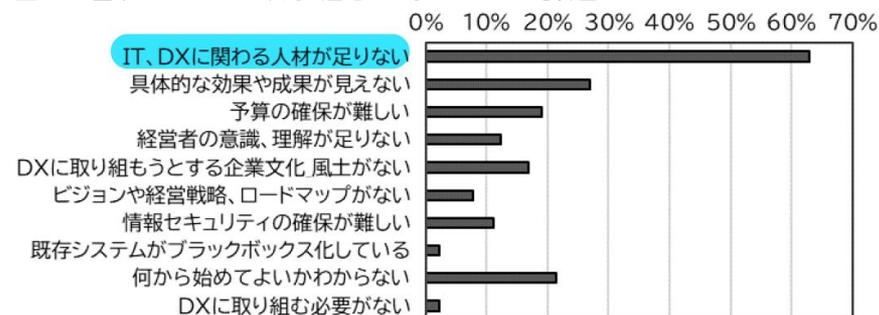
2023年 11/4(土) 14:00～16:00

会場 周南公立大学1141教室
対象 一般企業経営者・DX担当者
DXに興味のある方などでもOK
定員 50名
申込 QRコードより

特別講演 講演者: 野村 典文 周南公立大学 福祉情報学部 教授
東京理科大学を卒業後、南山大学大学院政経情報科学研究科博士課程修了
日立製作所、数研総合研究所、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社に入社。
システムコンサルティングに従事。
AI/データサイエンスを活用したサービス(ビジネス)デザイン、DX推進を研究している。

DM表示

図 6. 各社の DX に取り組むにあたっての課題

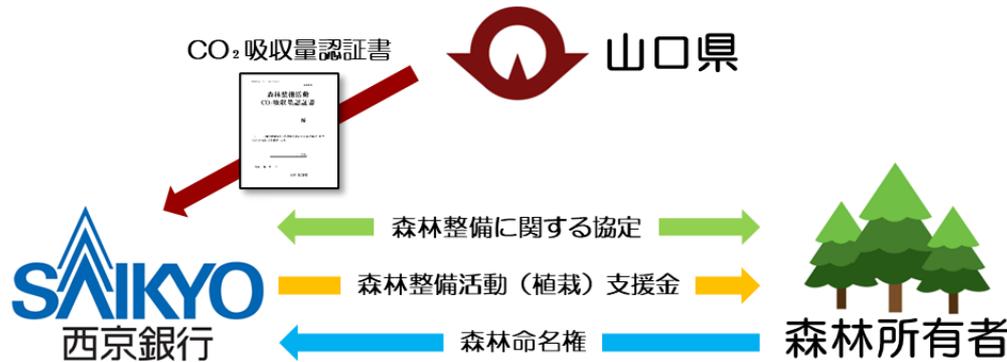


- * 各種セミナー開催および周南圏域企業172社にアンケートを実施し、DXに関する課題の把握、啓蒙を継続。

地域の課題解決 ~ SDGs、気候変動対応に関する取組み

山口県森林整備等CO₂削減認証制度への参加

- * 森林整備によるCO₂吸収量を山口県が認証し、企業の地球温暖化防止活動への参加を促進する制度



西京の森

山口市徳地 2.38ha
スギの苗木6,000本植栽



植栽の様子（2023年12月 完了）
※ 2024年度中に認証申請予定



スギの苗木



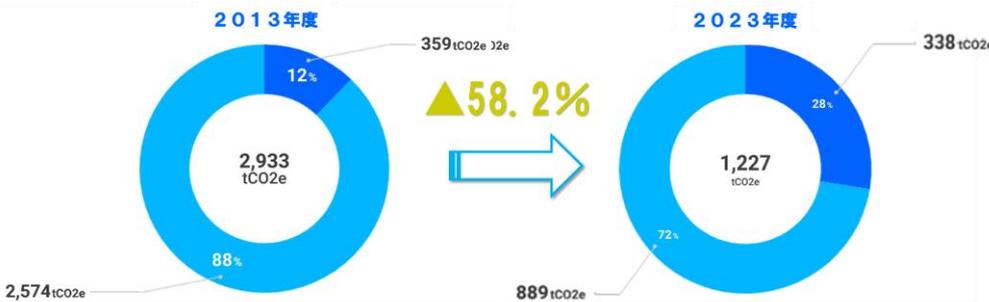
植栽作業



30年で木材に

温室効果ガス直接排出量の削減

“アスゼロ” CO₂排出量見える化サービスによる計測結果



- * 店舗網の見直しやATM台数の適正化等を推進
- * 政府目標の2013年度比▲46%を既に達成



S/Jリーグ2023山口大会開催！



- * 県内外から2,500名を超える観客を動員。
- * 大会後、オフィシャルサポーター数も昨年度の250社→310社に拡大。
- * 山口大会の成功を受け、2024年度S/Jリーグ開幕戦の山口県開催が決定！
- * 全国から12チームが終結し、2日間熱戦を繰り広げるビッグイベントに！



世界ジュニアチャンピオン入団！



- * 地元柳井商工高校から、キャプテンで世界ジュニアチャンピオンの田口真彩選手が入団。
- * 内定選手としてS/Jリーグ2023に参戦し、5戦全勝、新人賞を獲得！
- * S/Jリーグ2024優勝、オリンピック輩出に向け、着実にチーム力UP！

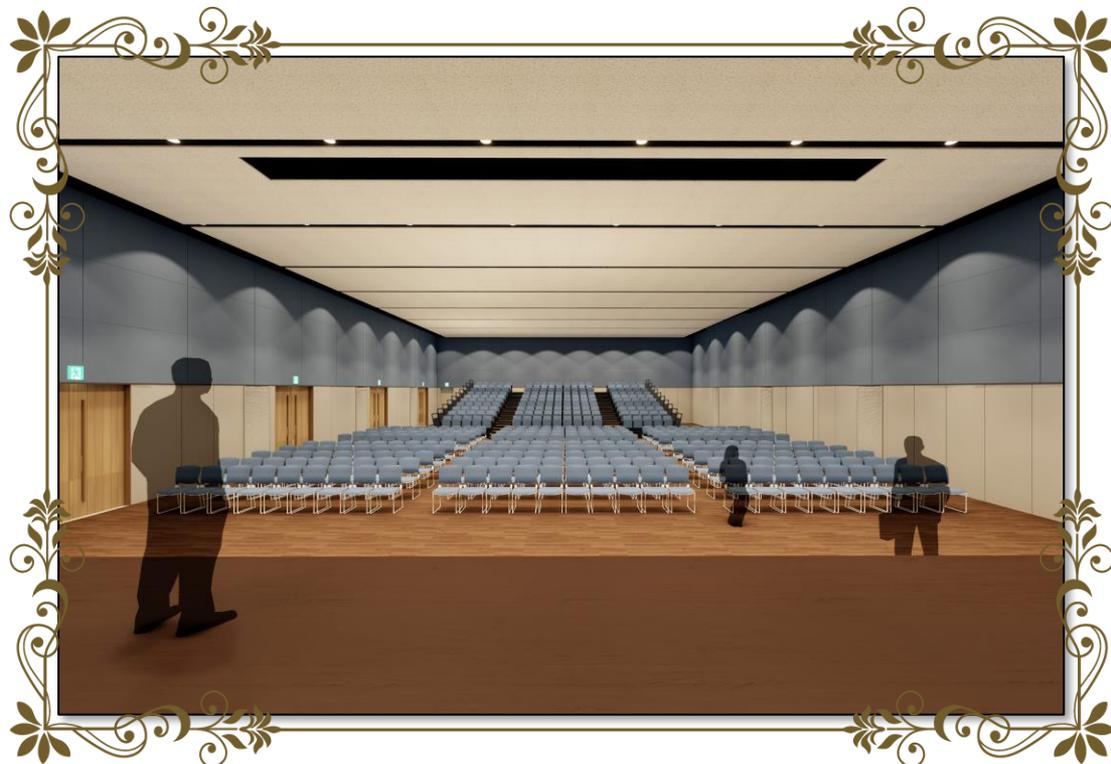
- * 新本社ビル「TOKUYAMA TERRACE」完成（2024年末着工→2026年夏竣工）に向け、「地域に開かれた銀行」をコンセプトに、人々がアクセスしやすく、街の賑わいの中心となり得る本社づくりを推進中。地元からの要望も受け、1Fへのコンベンションホール設置決定。



西京銀行 新本社ビル
TOKUYAMA TERRACE



JR徳山駅南口にほぼ直結！
県内外からのアクセス良好！



- * ホール面積550㎡（2分割可）、最大収容人数800名（ロールバックチェア方式 500席）。
- * 地元企業さま、団体さまが開催される各種学会や会議・セミナーのほか、学校関係のイベント等にご利用いただける多目的ホールとする計画。